



“ホット”なネットワーク!

かんちゃん通信 第12号

あじさい号 2019年6月28日発行

この秋で5周年に! 「かんちゃんの小さな家」

かんちゃんホットルーム(多文化共生・地域交流会)

子どもをまん中に 多文化・多国籍・多世代・・・

参加者は のべ **1263人** に! (第1回~37回)



こねて! はち鉢を押さえる人、そばをこねる人、子どもたち4人がかりでした♪

♪大好物のそばなので、とても楽しい時間でした。

♪自分たちで作った、少し太いめのおそば。でも、おいしかった。

♪そばを作るには、くろうすることがよくわかりました。力がすごくいることにびっくりしました。

今年の前半も、「そば打ち体験とぶんぶんゴマ」(2月)、「卓球バレーと地元の食材を使ったお好み焼き」(3月)、「朝鮮半島の打楽器の演奏と体験、チヂミを作ろう」(5月)・・・と、多彩な内容(=子どもたちの興味の方が多彩)でした!

4年前の第1回から5月の第37回までの参加者数を合わせてみると、のべ1200人を超えていました!! 6~8月も毎月開催します。子どもをまん中にした「一人ひとりの居場所」です。どなたも参加できます。皆さん、お待ちしていま~す!

楽しかった♪

そば打ち体験



のばして!

♪小さい子どもから、高齢者の方まで、幅広い世代の方が集まって、楽しい時間をすごしていたことが印象的でした。



♪初めての参加でしたが、アットホームで、本当に楽しい時間を過ごせました!



きって!

募集中 中・高校生のボランティアさん、おとなのスタッフさん 連絡くださいネ!

聞かせて♪ 「かんちゃんの小さな家」(の活動)を色で表すと何色に? (3面)

特集 ルシアさんからのメッセージ 「この30年間で何が変わったの?」(4面)

(2)

2019年

地元の食材を使ったお好み焼きと卓球バレー



大きな、おこのみやきが、せかいー(いち)おいしかったです。



ひっくり返す時、上手にひっくり返せなかったけど、食べるとおいしかったです。

安土コミュニティセンターや常楽寺老人憩いの家を会場に、10時30分から13時の時間帯で開催しています。3月の「地元の食材を使ったお好み焼き」では、子どもたちが焼いたり味付けをしたり・・・、おとなはアドバイス役に。5月は、焼きたての子ヂミを食べながら、子どもたち以上におとなの方々がもりあがっていましたね(^^)♪

皆で作るお好み焼きは楽しく、あっという間に時間が過ぎました。



今日は、小学校最後のかんちゃんでした。卓球バレーは、おとなの人とも楽しく活動できました。また、中学生になってもボランティアとして参加したいと思います。

みなさんが焼いてくださったお好み焼き、とてもおいしかったです。小さい子どもたちとすごせて、とても楽しかったです。



卓球バレーは、お年寄りの方から「こつ」を教えてもらっていました。



朝鮮半島の民族打楽器の演奏と体験

ドラの体けんができてうれしかたです。チマチョゴリは、とてもカラフルでかわいいなと思いました。サムルパリのことばのいみを、はじめてしりました。とても楽しかったです。

フラボー ミュージック
「Bravo music!

あいがとう
「Gracias」

「がっきがすごかったです。ひけてたのしかったです。」

「すごい迫力でした！」

チャンゴのばちは、たけでできていたのでびっくりしました。



子ヂミは、もちもちカリカリで、とてもおいしかったです。

体験コーナーより

お昼は“子ヂミ”

おとなの部もにぎやかでしたネ♪





かんちゃんアンケート ご協力をお願いします♪

あなたにとって

「かんちゃんの小さな家」(の活動)って 色で表すと何色になるかな!

イメージする色は? どうしてそう思ったの?

あなたからの「ひと言メッセージ」お待ちしております!



この秋で、「かんちゃんの小さな家」を開設し、活動をはじめて5周年になります。この機会に、皆さまからのメッセージや、これからに向けたご意見をいただきたく思っています。送信・送付先は、6ページの下に掲載しています。締め切りは、ひとまず8月31日です。よろしくお願いします!



かんちゃんの小さな家 活動のあゆみ(概況)

2014年 秋	<ul style="list-style-type: none"> ・「かんちゃんの小さな家」誕生
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニ事例学習会(スクールソーシャルワーク研究会しが)を隔月で開催
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域交流会活動」始める(第1回:親子パン作り)
2015年 4月	<ul style="list-style-type: none"> ・「相談ルーム」の活動始める ・「安土日本語教室」とつながる ・「地域交流活動」が、次第に「多文化共生・地域交流活動」に
秋	<ul style="list-style-type: none"> ・「かんちゃん通信」創刊号発行 ・「修復的対話(RJ)講座」(SSWしが)を始める
2016年 春秋	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習サポート教室」を始める ・地域で「模擬店の出店活動」を始める ・フィールドワークや高校生の実習の受入れ ・「多文化共生・地域交流活動」が「子ども食堂モデル事業」に
2017年 冬春	<ul style="list-style-type: none"> ・「ホームページ」開設 ・かんちゃんの小さな家の「友の会」を組織(会員の募集を呼びかける) ・学生ボランティア(登録制)、保護者スタッフの活動 ・大学の演習・実習等の受入れ ・滋賀県国際交流推進協議会:団体部会に入会
2018年 春	<ul style="list-style-type: none"> ・学区民生委員・児童委員協議会が「友の会」の団体会員に(活動に参加・継続した支援活動)
夏	<ul style="list-style-type: none"> ・安土学区まちづくり協議会と事業を通して連携
秋	<ul style="list-style-type: none"> *「2018 多文化共生フェスタ in あづち」を開催
2019年	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の紹介や報告、研修会等を通して活動の広がり新しいネットワークが(地域、中学・高校等の研修・学習会を含む)

朝鮮半島の打楽器の演奏と体験交流会より

♥♥♥ 皆さんからの“こえ”

●雨の音や風の音、雷の音をそれぞれの楽器があらわしていると説明がありました。演奏を聞くと本当にそのとおりでした。自然を大切にしている人々の心を表しているのですね。

(参加者より)

●演奏していただいた「チング」の皆さんからの「ひと言メッセージ」

アットホーム! /とても熱心に聞いてもらって演奏も楽しくできました。/参加者との間を近く感じました。/いろんな世代の方がおられました。/私たちを見てくれる視線がすごく一生懸命! /みんなで楽しんでいるって感じ。/あったかい雰囲気。

●同じ子ども食堂でも、取り組みや方針によって場の雰囲気が全く違うなと思いました。クッキングを積極的に取り入れられ、食を通じて人と人がつながりやすくなるように感じました。多世代、国を越えて交流ができる環境に魅力を感じました。

(学生ボランティアより)

特集

ルシアさんからのメッセージ



日系人の子どもをとりまく環境 この30年間で何が変わったの？

～学校園・所に “新しい風を生み出す大きな力” として！～



奥村ルシア克子さん (彦根市役所 通訳・相談員)

「平成」を生きてきた日系人の子どもたち

日系人が出稼ぎ労働者として、来日を始めてから約30年たとうとしています。「出稼ぎ」から「移住者」に変わり、多くの日系人にとって日本は「第2の故郷」になりました。家族と来日したり、日本で結婚・出産したり、いつも子どもたちと一緒にしました。



でも、日本で生活することは、とても大変でした。社会保障は、ほとんど受けられず、子どもたちをとりまく教育環境も厳しく、多くが不就学や不登校になったり、いじめ問題も珍しくありませんでした。また「義務教育ではない」ことを理由として、学校からの支援がすまない状況があり、子どもたちの進路に大きく影響しました。高校に進学ができず、若者は工場に派遣労働者として雇われます。多くの子どもたちは、セミリಂಗルやダブルリミテッドの状態で育ってしまいました。

定住化が進むなかで、日本で生まれ育った子どもたちが大半となっている現在。その子どもたちの中には、ブラジルを知らない子どもたちや、日本食しか食べられない子どもたちもいます。母語を十分に取得できず、日本語しか話せない子どもたちがいます。アイデンティティは、ブラジルにもない、日本にもない子どもたちや若者がいます。

一方、ブラジル学校を教育の場として選んだ親子は、子ども同士の共通点が多く、強い絆で結ばれています。同じ言語や教育制度のもとで学校・家庭生活を送ることで、保護者同士や教員・学校スタッフ間のコミュニケーションがスムーズにできます。保護者が



経験してきた学校行事やイベントなどを行うため、安心して参加できます。

しかし、課題もありました。ブラジル学校を選択することで、住んで

いる地域の中でその家族が孤立し、学校も孤立してしまう状況があることです。学校を卒業してからの進路が難しいです。ブラジル学校で十分に日本語が取得できないため、日本の大学に進学するのが難しいです。帰国して勉強を続けるか、日本で非正規労働者として働くか、という選択に迫られて、現在でもこのような状況は続いています。

では、この約30年の間、何かが変わって、子どもたちは生き生き、そして安心して暮らすことができているのでしょうか。そうではない辛い情報を、毎日のように耳にします。不就学や不登校、いじめ、虐待、非行などに巻き込まれる子どもたち...

今では、日系人の子どもだけでなく、様々な国にルーツをもつ子どもたちも加わってきています。同じような課題に直面しているのではないかと強く思います。

ダイバーシティ【※(1)】を

幼児期から学び 受け入れていくこと

日本の保育園や幼稚園に、以前と比べて外国人の子どもが徐々に増えています。外国人の子どもたちが入園することで、新たな文化が加わって園・所に多様な環境をもたらします。



多様な環境の中で幼児が育つことは、多くのよい刺激や経験をもたらす、先入観のないおとなに育つのではないかと思います。

子どもたちは、ダイバーシティと向き合い、自然に「違い」を理解して受けとめていきます。指導者が、ダイバーシティを有効活用することで、皆の人権感覚を高めたり、社会的な能力やコミュニケーションスキルなどを伸ばす大きな力になります。

(※右のページに続きます)→



子どものやる気をひき出すには？

4月から「子育て(就学前・小・中・高校生)ミーティング」が新しくスタートしました。日ごろの子どもの様子から、あなたが「どうしたら？」と悩んでいることや、いろいろ工夫している

こと等を一緒に考えていく機会になればと思っています。

初回のテーマは、「やる気」、そして6月の第2回は「ゲーム・スマホ」でした。初回に参加されたお母さんからメッセージをいただきました。

また、感想や「いろいろ工夫していること」等を教えてください。(紙面への掲載は、了承をいただいた場合のみです。)第3回は8月3日の予定です。お気軽にご参加ください！



◆ “子育てミーティング”に参加して

ミーティングの時間(90分)は、あっという間でしたが、「あっ、そうなんだ！」と、ヒントは実にたくさんいただきました。

例えば、「子どもの小さいことでもて見つけて、ほめてあげよう」とよく言われます。でも、無理して探してほめるって、しんどいです。本当は「もう少しこうしてほしいな…」という思いもある中でほめるって、正直自分の中で不自然なんです。

でも「無理にほめようとするのではなく、“ちゃんと見ているよ”という“指さし確認”だけでいいのでは。」という話を聞いて納得。その方が自然で、親も気が楽になります。



また、やる気を持って取り組ませるためには

「余白」をつくるという話も印象的でした。子どもの着替えの時に、急いでいても、ボタンを全部はめてあげるのではなく、1つか2つ、わざと残して「あなたに任せる」という「余白」をつくること。

後日、スポーツクラブに入っている子どもに、練習や試合の時の役割を、「自分たちで、やることを決めてみたら」と話しました。役割担当リストは親が作りましたが、自分たちでやりたい役割を選んで決めていくという部分が「余白」なんです。

子どもが「スポーツクラブ楽しいね」ということばを、これからも聞けるように、と願っています。

(小学生の子どものお母さん)

(※左のページからの続きです)

外国人の子どもたちを「問題」と思わないで、「保育園・所、そして学校に、新しい風を生み出す大きな力」として受け入れてほしいです。また、その力を存分に生かすためには、外国人の子どものアイデンティティを尊重することは、欠かせない要素です。自分の文化を否定せず成長できる<インクルージョン環境>【※(2)】が必要です。自然に「違い」を受け入れてくれることは、子どもの自尊心を高めるとても大事なポイントです。

これによって、外国人の子どもたちはもとより、すべての子どもたちが様々な活動に参加でき、豊富な経験をして、次なるステップに安心して繋がっていきけるのではないのでしょうか。

【※(1)】ダイバーシティ(多様性)とは、一人ひとりが持つ違い(人種、国籍、性別、年齢、宗教、ライフスタイルなど)を受け入れ、それぞれを価値として生かすこと。

【※(2)】インクルージョンとは、多様性を排除するのではなく多様性と共生をすること。



◆奥村ルシア克子さんは、「かんちゃんの小さな家」の多文化共生・地域交流スタッフとして“料理長”を担当♪ルシアさんの味付けは抜群ですよ！

◆右の写真は、「かんちゃんホットルーム」で、ブラジルの雑貨やおもちゃ、写真等を紹介している場面です。



◆「お人形、ピアスをしているね！」

子どもたちは、楽しくブラジルの生活の様子や文化を教えてくださいました♪



相談会のご案内

かんちゃん と まい子さんの
子ども・若者相談ルーム

子育てや学校生活・卒業後の進路等で
困ったこと、気になることがあれば
声をかけてくださいね!

7月21日(日)	13:00~17:30
8月3日(土)	13:00~17:30
9月8日(日)	13:00~17:30
10月9日(水)	13:00~17:30

定例日以外は、個別に相談に応じます。
保護者・支援の方の相談も可(要予約)
お問合せ(かんちゃんの小さな家
携帯090-3708-3315)

交流会のご案内



かんちゃんホットルーム

◆参加費:子ども100円・おとな300円

第39回 7月27日(土) 10:30~13:00

会場 安土コミュニティセンター
かんちゃんあそび村(その3)
日本のあそび・世界のあそび
ブラジル風のコロッケ「リゾリス」(予定)

第40回 8月18日(日) 10:30~13:00

会場 常楽寺老人憩いの家
昨年に続いて「よし灯り・よしを使った
クラフト(物づくり)」
お昼 今年も・・・8月はカレーライスだよ♪

学びのご案内

ミニ事例学習会



第30回学習会 7月21日(日)

第31回学習会 9月8日(日)

◇会場 かんちゃんの小さな家

◇時間 10:00~12:30

◇事前の申し込みが必要です

修復的対話(RJ)研修会

8~9月の日程は、下記の携帯・アドレスに
お問い合わせください。

🍃「かんちゃんの小さな家 友の会」

よろしくお祈りします

2019年度 会員募集中!

個人会員1口2,500円・団体会員1口10,000円

友の会・活動支援カンパの振込口座	
振込先銀行 滋賀銀行 安土支店	
口座種別 普通	口座番号 403489
口座名称 かんちゃんの小さな家	
代表 佐子 完十郎	

※次号「第13号」は、10月後半の発行予定です!

♥「かんちゃんの小さな家 ホームページ」

子育てミーティングのご案内

第3回ミーティング 8月3日(土)

◇会場 かんちゃんの小さな家

◇時間 10:00~11:30

◇事前の申し込みが必要です

せせらぎ (編集後記)

🍃「かんちゃんの小さな家」(の活動)を色で表すと何色になるかな?どうしてそう思ったの?(3ページ)・・・それは、「今」イメージした色でいいのです。明日は、また別の色になっても。あなたがイメージした色を教えてください。🍃この秋で、活動を始めて5年になります。「かんちゃんの小さな家」から「みえてくる」“景色”が変わりつつあります。ただ、大切な「こと」がどれだけ見えているか、と言われると(-_-)🍃「かんちゃんの小さな家」って、最初から“利用者さんが道案内人なんですよ!”「困っていること」「子どもたちに必要なこと」等、大切な「こと」を教えてもらってきました。活動を支えていただく皆さまからのメッセージ、お待ちしております。5周年の節目に、このようなキャッチボールができればいいなあと思っています。(か)

<https://kancyan-house.com/>



ホットフィールド 子ども・若者支援 ヒューマンネット

かんちゃんの小さな家

〒521-1351 滋賀県近江八幡市安土町常楽寺956-2
携帯 090-3708-3315 (代表 佐子) FAX 0748-46-3283
e-mail srmq61299@nike.eonet.ne.jp

